

地方独立行政法人さんむ医療センター
平成23事業年度の業務実績に関する評価結果

平成24年11月

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会

目 次

年度評価の考え方	1
<評価の基本方針>	1
<年度評価の方法>	1

地方独立行政法人さんむ医療センター平成23事業年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価	
1 評価結果	3
2 全体評価にあたって考慮した事項	3
3 評価にあたっての意見、指摘等	4
第2 大項目評価	
1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	4
(1) 評価結果	4
(2) 判断理由	4
大項目評価に当たり考慮した事項	5
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	6
2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価	7
(1) 評価結果	7
(2) 判断理由	7
大項目評価に当たり考慮した事項	7
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	8
3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価	8
(1) 評価結果	8
(2) 判断理由	8
大項目評価に当たり考慮した事項	8
(3) 評価に当たっての意見、指摘等	9
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会委員名簿	10
○平成23年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	10

年度評価の考え方

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会では、平成22年4月1日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センターについて、法人化して2年目の平成23事業年度の業務実績に関する評価を行った。

<評価の基本方針>

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

<年度評価の方法>

当該年度計画に定めた事項ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の2つを併せて行った。

(1) 項目別評価の方法

項目別評価は、①評価委員会による小項目評価、②評価委員会による大項目評価の手順で行った。

① 小項目評価

評価委員会において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、年度計画の小項目ごとの進捗状況について評価を行った。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合には、評価委員会が評価の判断理由等を示した。また、必要に応じて特記すべき点などについてコメントを付した。

② 大項目評価

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの進捗状況について評価を行った。

(2) 全体評価の方法

- ① 評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み(さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など)を積極的に評価した。

地方独立行政法人さんむ医療センター平成23事業年度の業務実績に関する評価結果

第1 全体評価

1 評価結果

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成22年4月1日に地方独立行政法人として設立され2年目の決算を迎えた。平成23事業年度の業務実績については、年度計画で掲げている3つの大項目評価「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する重要事項」が全てB評価であったこと、更には特に以下の点を評価し、全体評価としては中期目標及び中期計画の達成に向け、概ね計画どおりに進んでいると評価する。

2 全体評価にあたって考慮した事項

- (1) 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、看護師確保対策として看護学生に対する奨学金貸付制度による貸付者が20名であり看護師離職率も5.8%と低い値であったこと、山武地区在宅緩和ネットワークに協力機関として参加し各医療機関と連携し緩和ケア外来の患者を24時間体制で支援したこと、安全管理の徹底のため医薬品の安全使用のための手順書の見直しや研修を実施したこと、山武市の乳児検診を小児科外来と連携し院内で実施したことなどが上げられる。一方、常勤医及び看護師の人数が目標値に達しなかったこと、認定看護師が少ないままであること、患者・来院者の利便性向上の点において課題があることなどから、**B評価**(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる。)とした。
- (2) 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の大項目においては、再雇用制度を活用し看護師・看護助手等7名の効果的な人員配置をしたことが上げられる。一方、理事会で議論した内容(個人情報等は除く。)が分かるように議事録が公開されておらず、人事評価制度の構築、勤務成績を考慮した給与制度の導入などが遅延していること、また、人件費比率が依然高いことなどから、**B評価**(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる。)とした。
- (3) 減価償却費のうち資産除去債務(借地上の病院建物を取り壊して更地にする原状回復費用)については、中期計画では想定されていない費用のため、年度評価にあたってはそれを除いた形で評価にあたった。

(4) 特筆すべき取り組み

- ① 山武郡市医師会と連携した休日当番体制及び病院群輪番制二次救急医療体制の実施に努力したこと。
- ② 平成 23 年 4 月から産婦人科医療が開始され、平成 23 年 7 月からは分娩が開始されたこと。
- ③ 回復期リハビリテーション病床の開設準備がなされ、平成 24 年 4 月から回復期リハビリテーションが開始されたこと。

3 評価にあたっての意見、指摘等

- ア 就労環境の整備、研修体制の充実を図り、医師及び看護師の確保に努めていただきたい。
- イ 地域医療ニーズに合わせ診療科の充実を図り、地域医療の向上に努めていただきたい。
- ウ 公正で客観的な人事評価制度の導入を図り、頑張った人が報われる評価制度を構築し速やかに運用すること。
- エ 将来の医療環境の変化を見越し、職員の勤務成績を考慮した新しい給与制度の導入を円滑に進め速やかに運用すること。また、併せて人件費比率の改善について努力すること。
- オ 地方独立行政法人化したという意識改革のもと、職員が一体となって医療サービスの向上に取り組んでいただきたい。
- カ 引き続き地方独立行政法人のメリットを十分活かし、創意工夫及び経営改善に努めていただきたい。

第2 大項目評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)

(2) 判断理由

小項目の集計結果(《第2表 小項目評価の集計結果》参照)では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、救急医療の充実、医療水準の向上、患者サービスの一層の向上、安心して信頼できる良質な医療の提供などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

《 第1表 大項目の評価方法 》

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項等の内容を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の4段階により評価する。

- A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- D：中期目標・中期計画の達成のためには改善事項あり

【大項目評価に当たり考慮した事項】

- ① 小項目評価がA(年度計画以上に実施している)の評価の項目は、次の6件であった。
 - ア 看護師及び医療技術職員の人材確保〔項目番号:第2-2-(1)-イ〕

看護師奨学金制度については、平成24年度から入学する看護学生20名の貸与を決定した。平成23年度看護師入職者22名、離職率5.8%
 - イ 医療職の専門性及び医療技術の向上〔項目番号:第2-2-(2)-イ〕

研修支援のために規程を整備し、研修に関する費用面でも支援体制の充実を図った。
 - ウ 地域医療連携の推進〔項目番号:第2-2-(3)-イ〕

山武地区在宅緩和ネットワークに協力機関として参加し、近隣の診療所、訪問看護ステーション、薬局、ケアマネージャー等と積極的に連携し、緩和ケア外来の患者を24時間体制で支援した。
 - エ 医薬品の安全管理徹底のため、手順書の確認や職員研修を実施して管理の徹底を図る。〔項目番号:第2-4-(1)-イ〕

医薬品の安全使用のための業務手順書を定期的に見直し、職員研修を実施した。
 - オ 薬剤師による入院患者の服用の管理指導を積極的に実施し、様々な入院患者の要望に応える分かりやすい内容で指導する。〔項目番号:第2-4-(1)-ウ〕

施設基準届出のとおり、入院患者の状況に応じ、適切な内容で実施した。
 - カ 予防接種や乳幼児健診を積極的に行う。〔項目番号:第2-5-(1)-ア〕

県内外の市町の検診等の業務を委託契約し実施した。山武市の乳児検診については、施設の一部を提供し、小児科外来と連携し行った。千葉県内定期予防接種相互乗り入れに加入し、市町村の定期予防接種受託を行い実施した。インフルエンザ予防接種については、集団接種で行った。また、市内在住の高校2年生を対象とした子宮頸がん予防接種については、接種日を土曜日に設定し、受けやすい環境にして実施した。

《 第2表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数38項目に対し、A:年度計画以上に実施しているが6項目及びB:年度計画をほぼ順調に実施しているが25項目であり、割合は31/38と8割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)と評価した。

分野	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供	3		2	1	
2 医療水準の向上	14	3	9	1	1
3 患者サービスの一層の向上	10		7		3
4 安心して信頼できる良質な医療の提供	5	2	3		
5 市の医療施策推進における役割	6	1	4	1	
合計	38	6	25	3	4

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 地域医療ニーズに合わせ、内科を中心に診療科を充実させることが必要である。
- イ 救急患者の受け入れを積極的に行い、地域全体の医療の向上に努めていただきたい。
- ウ 医師及び看護師の確保について、引き続き努められたい。
- エ 内科、産婦人科及び小児科の充実を期待する。
- オ 認定看護師の確保に努められたい。
- カ 紹介患者率の向上と併せて逆紹介患者率の向上に努めること。
- キ 訪問看護の充実による医療サービスの向上を望む。
- ク 回復期リハビリテーションのサービスの質向上に努められたい。
- ケ 接遇マニュアルを作成し、接遇の向上に努めること。

2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)

(2) 判断理由

小項目の集計結果(《第3表 小項目評価の集計結果》参照)では、B評価となるが、下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置の中で、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立、効率的かつ弾力的な業務運営などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

① 小項目評価がA(年度計画以上に実施している)の評価の項目は、次の1件であった。

ア 再雇用制度の活用の検討を図る〔項目番号:第3-2-(5)-エ〕
退職者7名に適用し、実施している。

《 第3表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数21項目に対し、A:年度計画以上に実施しているが1項目及びB:年度計画をほぼ順調に実施しているが16項目であり、割合は17/21と8割以上を占めることから、小項目評価の集計では、B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)と評価した。

分野	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1			1	
2 効率的かつ効果的な業務運営	20	1	16	3	
合計	21	1	16	4	

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 理事会で議論した内容は、広く住民に周知すべきである。理事会で議論した内容(個人情報等は除く。)が分かるように議事録を作成し、公開すること。
- イ 事務職の職務能力向上について、専門知識が必要な病院経営の分析、医療事務に精通した職員の採用及び育成に努めること。
- ウ 人事評価制度の取り組みにあたり、資格制度の見直しについて検証されたい。
- エ 勤務成績を考慮した給与制度の導入を早急に実施すること。
- オ 看護師の提案や問題を受け止める相談体制の整備、及び就労環境の整備に引き続き努められたい。
- カ 医療費の未収者に対する督促・催告等の回収処理は、法に基づき適正に処理し、未収金の回収に努めること。
- キ 引き続き医業収支比率の向上と、人件費比率を下げることに努めること。
- ク 後発薬品の採用促進に努めること。

3 「その他業務運営に関する重要事項」に関する大項目評価

(1) 評価結果

B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)

(2) 判断理由

小項目の集計結果(《第4表 小項目評価の集計結果》参照)では、B評価となる。下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、その他業務運営に関する重要事項の中で、施設整備の推進、地域医療再生交付金の活用などの成果を踏まえて総合的に評価し、B評価が妥当であると判断した。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

- ① 小項目評価がA(年度計画以上に実施している)の評価の項目はありませんでした。

《 第4表 小項目評価の集計結果 》

評価対象項目数2項目に対し、B:年度計画をほぼ順調に実施しているが2項目であり、割合は2/2と全てを占めることから、小項目評価の集計では、B評価(中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画どおりに進んでいる)と評価した。

分野	評価対象項目数	A:年度計画以上に実施している	B:年度計画をほぼ順調に実施している	C:年度計画を十分に実施できていない	D:年度計画を大幅に下回っている
1 施設整備の推進	1		1		
2 地域医療再生交付金の活用	1		1		
合計	2		2		

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ア 回復期リハビリテーション医療を開始したが、更なる質の向上に努められたい。
- イ 千葉県回復期リハビリテーション病棟整備事業補助金を活用してもよかったのではないか。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	総合病院国保旭中央病院名誉院長
副 委 員 長	長 隆	東日本税理士法人代表社員
委 員	伊 藤 俊 夫	山武市三師会
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院院長
委 員	亀 田 信 介	亀田総合病院院長
委 員	炭 山 嘉 伸	東邦大学理事長
委 員	萩 原 善 和	山武市議会
委 員	水 田 宗 子	学校法人城西大学理事長

(敬称略、委員は五十音順)

○平成 24 年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
第1回 平成24年7月25日(水) 山武市役所 大会議室	① 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける平成23事業年度の業務実績評価について